

会社概要

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

商号	三菱商事RtMジャパン株式会社 Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.
本社	〒100-7027 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー27階
設立年月日	1947年1月25日
資本金	31億4,306万2,500円
売上高	4,914億円(2019年3月期実績)
従業員	288名(2020年4月1日現在)
株主	三菱商事株式会社(100%)

経営理念

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

Vision

RtMJのめざす姿

日本及び世界各国の経済成長と産業の変化・進化を先取りし、総合的な「金属資源トレーディング」会社として、社会的信頼を獲得しながら持続的に成長することを目指します。

Mission

RtMJの企業使命

グローバルなトレーディングを展開することで、時間と空間のギャップを埋める質の高い機能を提供し、顧客やビジネスパートナーが必要とする金属資源・素材の安定供給を果たし、社会の発展に貢献してゆくことが使命です。

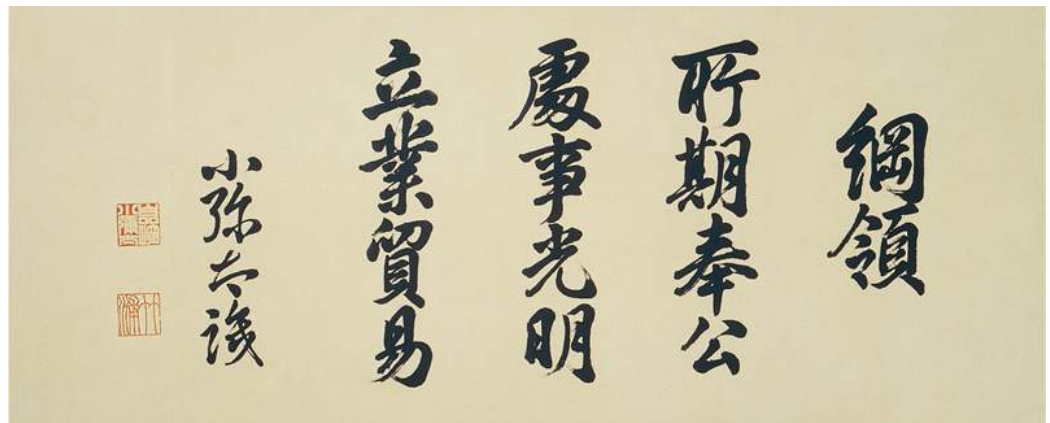
Value

RtMJの価値観・行動指針

三菱商事グループの一員として、三菱商事の「三綱領」を社是とし事業活動の拠り所とします。

「三綱領」

「三綱領」とは、1920年の三菱四代社長岩崎小彌太の訓諭をもとに、1934年に旧三菱商事の行動指針として制定されたものです。その精神、価値観は150年余の歴史の中で引き継がれ、今日に於いても生きており、三菱グループの企業活動の指針となっています。



岩崎小彌太筆による三綱領

所期奉公

期するところは社会への貢献
事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、
かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。

處事光明

フェアプレイに徹する
公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

立業貿易

グローバルな視野で
全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

(2001年1月、三菱グループ各社で構成される三菱金曜会にて申し合わされた現代解釈)

沿革

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

1947 年 01 月	非鉄金属を主要取扱品目とする商社として金属商事株式会社を設立 (資本金 18 万円、本社所在地 東京都文京区本郷 1 丁目 9 番地)
1948 年 08 月	貿易商社としての基盤を確立、社名を金商株式会社に変更
1960 年 11 月	大阪の繊維商社であった又一株式会社を合併、社名を金商又一株式会社に変更
1961 年 10 月	東京・大阪両証券取引所第一部に上場
1999 年 04 月	社名を金商株式会社に変更
2000 年 11 月	環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 の認証を取得
2006 年 08 月	三菱商事株式会社の子会社となり、資本金 31 億 4,306 万 2,500 円となる
2007 年 05 月	三菱商事株式会社子会社(エム・シー非鉄株式会社)の事業の一部を譲り受ける
2008 年 03 月	三菱商事株式会社の完全子会社となる
2009 年 04 月	社名を三菱商事ユニメタルズ株式会社に変更
2010 年 04 月	三菱商事軽金属販売株式会社を合併
2013 年 04 月	三菱商事の金属資源トレーディング事業を会社分割(吸収分割)により移管、 社名を三菱商事 RtM ジャパン株式会社に変更
2013 年 09 月	本社事務所を JP タワーに移転
2014 年 04 月	関西支店開設
2014 年 06 月	法務・コンプライアンス室設置
2015 年 04 月	東北支店開設
2016 年 02 月	名古屋支店事務所を JR セントラルタワーズに移転
2020 年 03 月	関西支店廃止

役員紹介

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

取締役(7名)	代表取締役社長：榎本 好一	代表取締役副社長：土井田 安広
	代表取締役：増田 徹	取締役(非常勤)：塩原 恵一
	取締役(非常勤)：小山 聡史	取締役(非常勤)：川本 洋史
	取締役(非常勤)：Vineet Kohli	

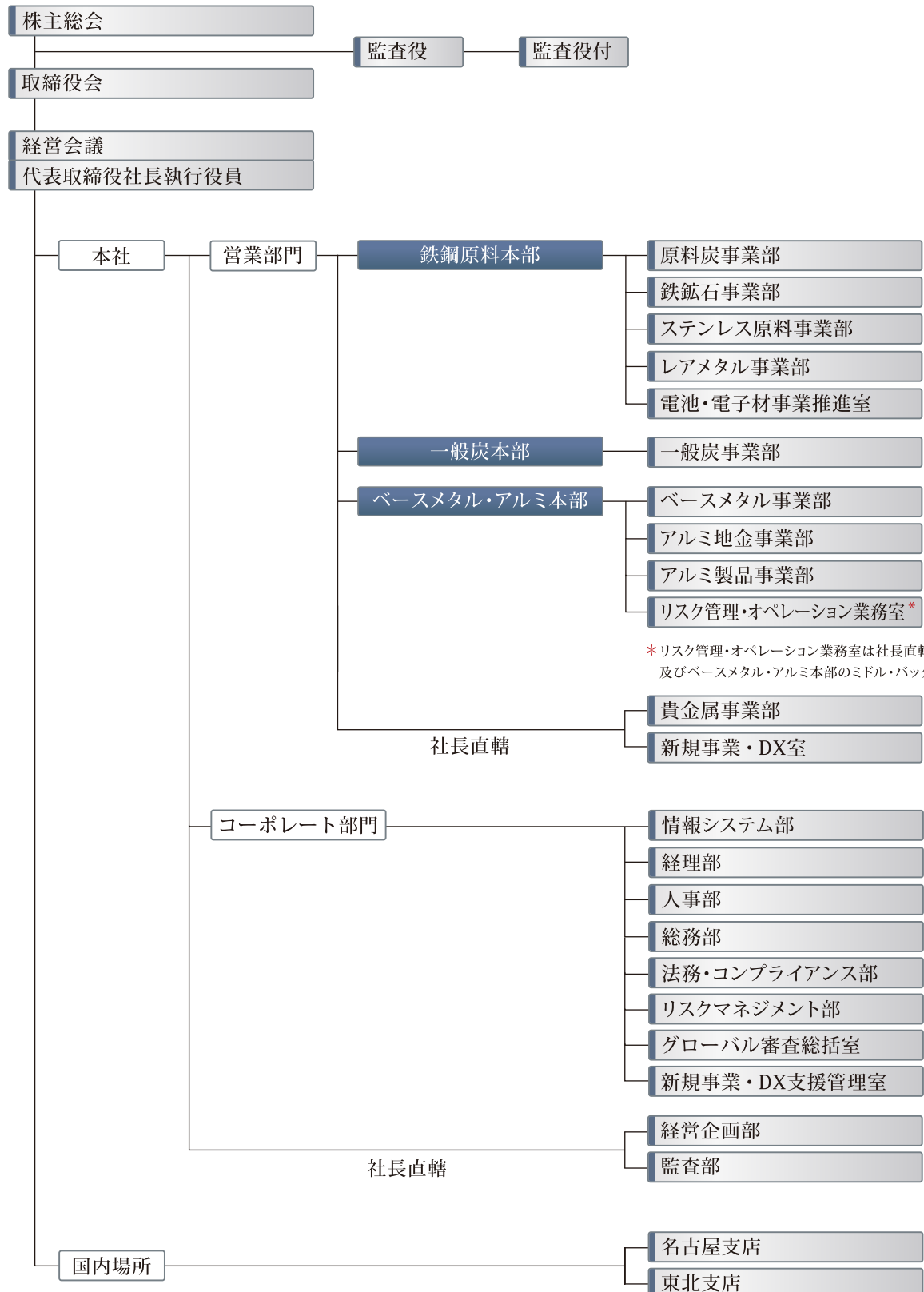
監査役(1名)	監査役(常勤)：檜山 充
---------	--------------

執行役員(7名)	社長執行役員：榎本 好一	副社長執行役員：土井田 安広
	常務執行役員：増田 徹	執行役員：宇田川 健一
	執行役員：伊原 毅	執行役員：有賀 信之
	執行役員：岩田 進太郎	

組織図

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

三菱商事RtMジャパン株式会社
2020年4月1日付



*リスク管理・オペレーション業務室は社長直轄の貴金属事業部、及びベースメタル・アルミ本部のミドル・バック業務を行う。

原料炭事業部

鉄鋼原料本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

原料炭事業部では、三菱商事 RtM グループの日本拠点として、本邦高炉製鉄会社やコークス会社向けに豪州、カナダ、米国、中国等の原料炭輸入代行業務及び本邦製鉄会社の発電事業向けにインドネシア、米国の一般炭販売を行っております。

三菱商事 RtM グループのグローバルネットワークを活用した世界各地のマーケット情報や、三菱商事 RtM グループ本社の先物機能を活用することにより、多様化・高度化するニーズに対応しつつ、お客様の長期安定原料調達に貢献しております。

取扱商品

原料炭、及び製鉄会社向一般炭



貨車による石炭の輸送



炭鉱作業
シャベルとトラック



炭鉱作業
ドラッグライン

鉄 鉱 石 事 業 部

鉄鋼原料本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

鉄鉱石事業部では、三菱商事 RtM グループの日本拠点として、本邦製鉄会社の鉄鉱石輸入の代行業務を請け負うとともに、日本・韓国・台湾の高炉製鉄会社向けに世界各地からの鉄鉱石販売活動を展開しております。

三菱商事 RtM グループのグローバルネットワークを活用した世界各地のマーケット情報や、三菱商事 RtM グループ本社の先物機能や、ばら積み貨物船調達機能を活用することにより、多様化・高度化するニーズに対応しつつ、お客様の長期安定原料調達に貢献しております。

取扱商品

鉄鉱石(塊鉱、粉鉱、ペレット等)



Los Colorados Mine



IOCのQNS&L鉄道

ステンレス原料事業部

鉄鋼原料本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

ステンレス原料事業部では、ニッケル鉱石・フェロニッケル・フェロクロムを中心とするステンレス原料に加え、モリブデン・バナジウムなどの製鋼副原料を取り扱っております。国内外の優良なサプライヤーとの良好な関係を通じて、本邦及びアジアのお客様向けに安定供給を行っております。

ステンレスとは、鉄を主成分とし、これにクロムやニッケルを加えた耐食性の高い(= 錆びにくい)合金鋼のことです。ステンレスはその特性を活かし、建築資材や鉄道車両、身近なものではシステムキッチン、魔法瓶等に使われています。又、クロムやニッケルは自動車の軸受鋼や、油井管で利用されるシームレスパイプ等、その他の特殊鋼にも使用されており、産業を材料から支える上で重要な役割を担っております。

フェロニッケルの原料となるニッケル鉱石は東南アジアやニューカレドニアから調達しており、これをフェロニッケル製造会社に販売する取引を行なっております。又、フェロバナジウムでは国内取引や北米・南米向けの輸出取引を、フェロクロムやモリブデンでは南アフリカや欧米からの輸入取引を中心にコンテナからバルク取引迄、多種多様なお客様のニーズにフレキシブルに対応し、安定的な原料調達に貢献しております。

取扱商品

フェロニッケル、ニッケル鉱石、フェロクロム、フェロモリブデン、三酸化モリブデン、フェロバナジウム
フォロチタン、チタンスポンジ 他



フェロニッケル



ダンプアップ



バルク船

レアメタル事業部

鉄鋼原料本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

レアメタル事業部では永久磁石・超硬工具・電子材料・耐火物・触媒等の原料となるレアアース、タングステン、タンタル・ニオブ及びバデライト等ジルコン系製品を主要商品として取り扱っております。

レアアースは先端技術の製品に不可欠な元素であり、電気自動車からエアコン等の各種家電に使用されている高性能の永久磁石や半導体用の研磨剤、環境を守る触媒といった重要な産業に欠くことの出来ない重要な原料です。お客様のニーズに応えた各種レアアースを取り扱っております。

タングstenは、自動車・半導体等の加工に使用される超硬工具から車載用ガラスや産業ガス等幅広い分野で使用されています。当社は、パラタングsten酸アンモニウム、タングstenカーバイドといった中間原料からワイヤーやバー等の川下品まで各種タングstenを幅広く取り扱っております。

タンタル・ニオブは主要のコンデンサー用以外にも、最近ではスマートフォンに欠かせない SAW フィルターの重要な原料として注目されています。当部は原料である精鉱から中間製品である酸化物 / 金属タンタル・ニオブに至るサプライチェーンを確保し、お客様のニーズに応えた各種タンタル・ニオブを取り扱っております。

バデライトは耐火材や研磨剤に使用されている世界で唯一ロシアにて商業生産されているジルコニア原料で、当社は日本市場の総販売代理店として安定的にお客様に供給しております。またオキシ塩化ジルコニウムといった各種ジルコン系中間原料も取り扱っております。

当社は上記商材の取り扱いにおいて長い歴史を持ち、三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークを駆使して主要な産地である中国やロシア、豪州、アフリカ等から優良な原料を安定的に調達するだけでなく、お客様の特別なニーズに合わせた商品開発・国内外の原料調達にも豊富な経験を有しております。

取扱商品

- | | |
|-----------|---|
| レアアース | ： 各種レアアース(炭酸塩/水酸化物/酸化物/メタル/合金) |
| タングsten系 | ： タングstenワイヤー/パラタングsten酸アンモニウム/三酸化タングsten/
タングstenパウダー/タングstenカーバイド |
| タンタル・ニオブ系 | ： タンタル精鉱/タンタルスクラップ/五酸化タンタル・ニオブ
パウダー/金属タンタル・ニオブパウダー/炭化タンタル・ニオブパウダー/
タンタル・ニオブ合金 |
| ジルコン系 | ： バデライト/オキシ塩化ジルコニウム/炭酸ジルコニウム/酸化ジルコニウム |



ハイブリッド車



LED

電池・電子材事業推進室

鉄鋼原料本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

電気自動車の生産拡大に伴い電気自動車に搭載される二次電池正極材原料であるニッケル、コバルト、リチウム等の需要が大きく伸びていくと予想されます。電池・電子材事業推進室ではこれらの原料の将来の安定供給の一端を担うべく新規プロジェクト発掘に取り組んで参ります。

取扱商品

コバルト地金、オキシ水酸化コバルト、硫酸ニッケル 等



コバルト地金



オキシ水酸化
コバルト



電気自動車
(i-MiEV)



スマートフォン



硫酸ニッケル

一般炭事業部

一般炭本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

一般炭事業部では、主に発電用の燃料として使われる石炭（一般炭）を取り扱っております。

三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークを最大限に生かし、世界規模で一般炭のトレーディング事業を行っており、三菱商事 RtM グループの日本拠点として、日本のお客様への安定供給の為に、世界中から競争力のある一般炭のご紹介に加え、マーケット関連情報の提供や、デリバティブを活用した価格固定等、お客様の多様化・高度化しているニーズに対応したサービスを提供しております。

取扱商品

石炭(一般炭)



豪州石炭積出港



石炭(一般炭)



トラックと
ショベルによる採掘



石炭輸送用
ベルトコンベイヤ



大型鉱山機器

ベースメタル事業部

ベースメタル・アルミ本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

ベースメタル事業部では、銅・鉛・亜鉛等の原料精鉱、及び銅・鉛・亜鉛・錫等の地金、銅荒引線などの銅製品を取り扱っております。

銅・鉛・亜鉛精鉱は、南米や北米、アジア、オセアニア等の鉱山より産出されます。鉱山で採掘された粗鉱は、磨鉱（粗鉱を細かく砕く）、選鉱（薬品等を加え、攪拌することで金属分を抽出）等の工程を経て、金属含有量を高めたパウダー状の精鉱として、バラ積み船で出荷されます。本邦製錬メーカーへの安定的な原料供給を行うことを最大の使命としつつ、三菱商事（株）が出資する鉱山の生産物引取権を有するものを中心に販売しております。

銅地金は、電気・熱伝導性に優れ、延展性に富む特性があり、各種電線・伸銅品等に加工された後、建設・家電・電力・自動車等の産業分野で消費されています。三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事（株）のグローバルネットワークを通じ、世界のサプライヤーから調達した商品や、出資先のインドネシア Gresik 製錬所で生産される銅地金、副産物のアノード・スライムを含め、アジア地域のお客様に供給しております。

錫地金は融点が低い特性によるハンダ・ブリキ鍍金・化成品用途、鉛地金は製錬が容易かつ安定性が高い特性によるバッテリー・無機薬品・放射線の遮蔽板用途、亜鉛地金は酸化被膜を作る特性による鉄の防蝕・ダイカスト・伸銅品用途、に幅広く使われております。

当社では、本邦含む世界のサプライヤーの製品を取り扱っており、中でも錫地金は世界第二位の生産者であるインドネシア PT Timah 社の商品を中心に販売を行っております。

取扱商品

銅精鉱/鉛精鉱/亜鉛精鉱/銅地金(電気銅・銅荒引線等) /アノード・スライム



鉱山



船積み



銅地金1



銅地金2



銅荒引線

アルミ地金事業部

ベースメタル・アルミ本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

アルミ地金事業部では、LME 上場商品であるアルミ新地金のほか、様々なお客様からのニーズにお応えできる各種アルミ合金地金を取り扱っております。三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークを通じて安定した調達を行い、アルミ価格のヘッジ機能の提供やお客様の需要地点への輸送アレンジ等、マーケットに精通したスタッフがお客様の様々なご要望にお応えしております。

アルミニウム新地金(新塊)とは、ボーキサイトから精製したアルミナを電気分解により製錬し、アルミニウムの純度を 99.70% 以上に高めた圧延・押出・鍛造・鋳造等アルミ製品用の原材料です。当社では、本邦ならびにアジア地域に於けるお客様に対し、豪州、中東、ロシア、インドといった世界中のアルミ製錬所よりアルミ新地金を輸入・販売しております。また、アルミホイールやエンジンブロックといった各種自動車部品の原料となるアルミ合金地金、ならびに圧延・押出製造の原料となるアルミスラブ・ビレットに関しては、安定供給・高品質といったお客様のご要望にお応えするべく、最適なサプライソースをご提案させて頂いております。

取扱商品

アルミ新塊(P1020、その他高純度品)/アルミ新塊合金(A356、6063Billet 他)



アルミ新塊



アルミ新塊合金
(A356)



アルミ製品事業部

ベースメタル・アルミ本部

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

アルミ製品事業部では、主に熱交換器用アルミニウム圧延製品並びにアルミニウム押出製品、熱交換器、航空機材料を取り扱っております。

ラジエーター、コンデンサー、エバポレーター等の自動車用熱交換器に使用されるアルミニウム熱交材料及び製品については、長年の取り扱い経験に基づき、高度化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することにより、国内外の多くのお客様に販売実績をあげております。

また、国内及び海外市場に於ける新規プロジェクトの企画並びに、製造・販売拠点の設立や経営への参画を通じ、市場の成長とともにビジネスの量と質とを高めて行くことを目指しております。

昨今のビジネス環境の急速な変化・市場のグローバル化に伴って商社に求められる機能が高度化している中で、当社ではグローバルにビジネスパートナーとの関係を構築し、物流機能を加えた材料供給を行っており、ユーザーの皆様より高い評価を得ております。当社の国内・海外拠点では、知識及び経験豊富なスタッフが、お客様の材料調達におけるニーズ、また海外進出に関するご相談にもスピーディーに対応しております。

取扱商品

アルミニウム製品：熱交材/押出製品/小型扁平管/航空機材料

銅製品：空調用銅管

その他：自動車用モーター



カーエアコン用
コンデンサー



アルミ小型扁平管



ファンモーター



アルミコイル

貴金属事業部

社長直轄

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

貴金属事業部では、シンガポール・東京・ニューヨーク・ロンドン・上海を中心拠点とする24時間体制で、貴金属地金を生産者等から長期契約により調達し、全世界のお客様向けに安定的に供給しております。加えて、平均価格／長期固定価格契約やリース契約等の多様な取引、三菱商事RtMグループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークに基づく幅広い市場関連情報提供をしております。

三菱商事RtMグループにおける日本拠点として、当社は、本邦・東南／中央アジア・中東市場のお客様を中心に取引しております。昨今の市況価格の高騰・ボラティリティーの拡大に伴い、益々必要とされるリスク管理手法についても、お客様のご要望に添って提供しております。

また当社のトレーディング機能と、三菱商事(株)が行う貴金属精製・加工メーカーへの事業投資を融合した垂直統合型のバリューチェーンを構築し、高付加価値な機能・サービスをお客様に提供しております。

取扱商品

金、銀、PGM(プラチナ、パラジウム、イリジウム、ルテニウム、ロジウム)

主な工業用途例

金 : 電子材部品、歯科材

銀 : 太陽光パネル、感光材

PGM : 自動車用排ガス浄化触媒、電子材部品、化学品製造用触媒、歯科材

下記、貴金属を利用した最終製品例



スマートフォン



ハードディスク



太陽光パネル

新規事業・DX室

社長直轄

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

新しい技術が次々と発明され、社会全体でデジタル化が急速に進んでいます。既に金融産業を中心にデジタル化が進展していますが、物流・トレーディング業界にもその波は押し寄せて来ています。新規事業・DX室は、「顧客起点」という言葉を真剣に考え直し、弊社が従来からお客様に提供して参りましたサービスをお客様目線の発想で見直し、デジタル化を通じ、進化・深化させることを目的に弊社内横断組織として活動する室です。常にお客様に寄り添い、伴走し、お客様と共に成長すべく、弊社機能・サービスをデジタル化を通じて変革し、お客様が求める価値を提供させていただきます。

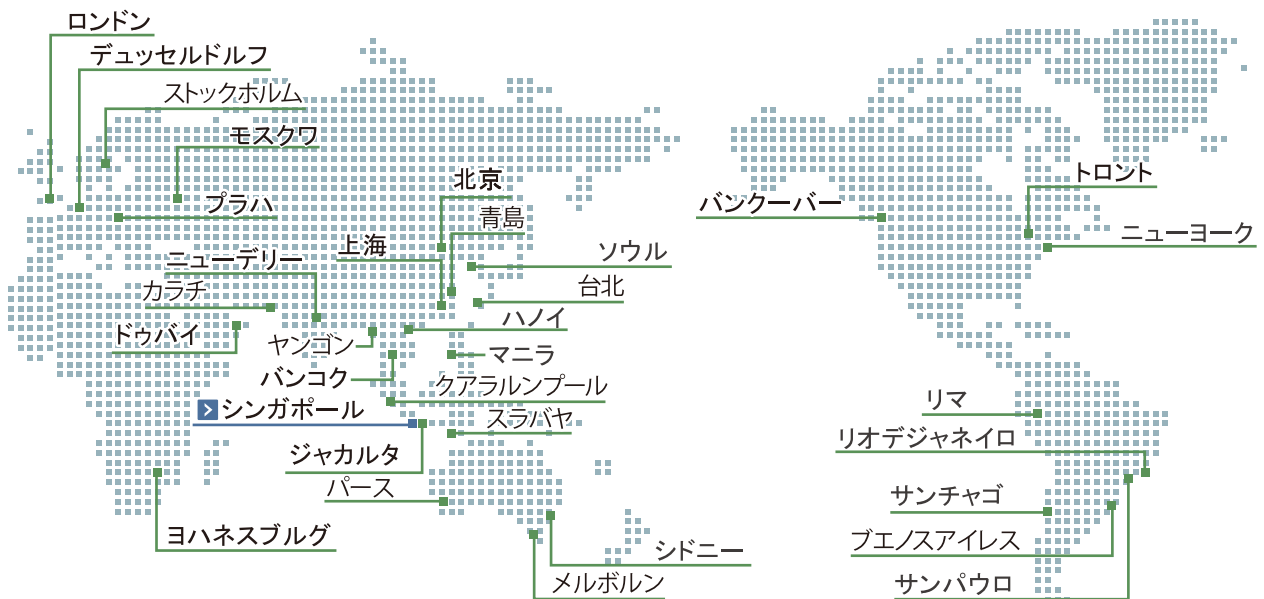
国内・海外拠点

Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd.

国内拠点

営業所	住所
本社	〒100-7027 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー27階
名古屋支店	〒450-6049 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ49階
東北支店	〒980-8571 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目6番1号 仙台パークビル12階

海外ネットワーク



■ Mitsubishi Corporation RtM International Pte. Ltd.

■ 三菱商事海外拠点

Mitsubishi Corporation RtM International Pte. Ltd.

住所

3 Temasek Avenue #32-01 Centennial Tower, Singapore 039190